

はなみずき

川崎市立南菅中学校
学校だより
2025年3月11日発行
第10号

温かい春の訪れ 校長 野島隆行

今年は2月の寒波のせいでしょうか、学校の梅の開花が昨年より遅かったのですが、2月末にやっと紅白の花を咲かせました。敷地内のフキノトウも同じ頃に顔を出し、3月になると早咲きの桜も咲きだしました。いよいよ春めく中で3月12日には3年生104人が卒業式を迎えます。3年生が入学した令和4年はコロナ感染症も収束に向かい、中学校での活動もほぼ制限なく行えました。卒業生一人一人が皆充実した3年間を過ごすことができているのは幸いです。南菅中学校での3年間の学びがこれからの新たな場所で生かされ、生徒たちがより良い人生を歩んでいく糧になっていることを願います。

さて、春にふさわしい温かいお話がありました。本校の生徒がとても良い行いをしてくれたお話です。1学年通信21号に掲載されていますので、1学年の保護者の方には伝わっているかと思いますが、他学年の保護者の方にもお伝えしたいと思い、以下に1学年通信の原文をそのまま引用します。

『ある日、学校に1本の電話がありました。電話の内容は、道で落とし物を拾い、交番に届けに行った娘（小学1年生の女の子）が友達とはぐれてしまい一人で泣いていたところ、声をかける2人の人がいました。その人たちは優しく声をかけ、娘を励まし、一緒に家までついでてくれました。女の子はお礼を言いたかったのですが、その子を送り届けたその人たちはもう近くに居なかったそうです。

結局誰とはわからなかったのですが、学校のそばで制服（ジャージ）を着ていたのが、南菅中学校の生徒だということはお分かりかと思います。その女の子と保護者の方が感謝の意を伝える電話をしてくれたのです。電話をしてくれるくらいですから、差し向けてくれたその優しさが、その女の子にも保護者の方にもさぞ嬉しかったのでしょう。その後、この話を学年に伝えたところ1年生のバレー部の2人だということが分かりました。こうやって学校の中だけではなく自分の住んでいる地域の人にも優しく丁寧に接してくれたおかげで、学校はもちろん地域の皆さんも安心して日々の生活を送ることができます。女の子も人のやさしさに触れるという良い体験（学ぶ）ができたと思います。年度の初めに伝えた学年目標の要になる「学ぶ」と「みんなとうまく付き合っていく」を發揮してくれた2人の力をとても頼もしく思います。

それにしても「もう近くには居なかった。」というのがとても良いです。その場面を見ていたわけではないのですが、「名乗るほどの者ではございませんが・・・」という誰もが一生に一度は言いたいシビれる場面だったと思います。』

本校では市の学力・学習状況調査の生徒アンケートで「人が困っているときは進んで助けている。」との回答が約90%でした。また校内の学校教育活動生徒アンケートの学校についての意見にも南菅中学校には優しい人が多いという記述が目立ちました。この話はまさにそうした結果を表す事例です。また、小学1年生の女の子も拾った落とし物を交番に届けに行くという行動だったのですから、このお話には二重の温かさがあります。とても心和むうれしい出来事でした。



2年生、職場体験学習へ行ってきました！

2月6日（木）、7日（金）の2日間、2年生は総合的な学習の時間として、職場体験を行いました。事業所などへ行き、実際に仕事を体験したり、仕事のやりがいなどについて話を聴いたりしていました。「働くことは、生きること」です。今回の体験からたくさんのことを学んだと思います。これからの学校生活に生かしましょう。協力して下さった事業所の皆様、本当にありがとうございました。



実際に職場を体験し、たくさんのことを感じてきました。

3年生、卒業期特別時間割☆

3年生は卒業期特別時間割で、中学校生活最後の時間を、仲間と共に楽しんでいます。中学校の先生方ももちろん、小学校6年生の時の担任の先生への感謝の手紙を書いたり、1年生の時のクラスのメンバーで黒川校外学習へ行ったり、百人一首、球技大会、卒業遠足、三送会、最後の学年集会など、どの活動も大変充実し、卒業後の活力にもなったと思います。三年間、本当によく頑張り、成長してきました。義務教育の集大成である明日の「卒業式」を成功させて、この学び舎から大きく羽ばたいていってください！



たくさん思い出ができましたね☆ご卒業、おめでとうございます！